

5. 平成22年度財務の概要

学校法人津曲学園の平成22年度決算は、監事及び公認会計士の法定監査を終え、平成23年5月27日開催の理事会並びに評議員会にて、承認されましたので財政状況について報告いたします。

①主な事業（施設・設備等の投資）

平成22年度は総額707百万円の事業を行いました。

主な事業は、施設関係で土地購入366百万円（鹿児島高校テニスコート）、大学 除マンガン施設整備36百万円、大学1号館132教室改修11百万円、設備関係では、教育関係設備充実の為、教室用パソコン及び学生貸出用パソコン等の入替や大学院学生システム（機能追加対応）をリース総額で109百万円、図書は53百万円、機器備品は14百万円です。

②資金収支の概要

平成22年度決算と平成21年度決算を比較すると、資金収支の収入合計は8,996百万円で前年度比631百万円の増加となりました。支出合計は9,855百万円となり前年度比138百万円の増加となりました。

したがって平成22年度決算収支は859百万円のマイナスとなりました。

収入の部を勘定科目別に見ていくと、学生生徒等納付金収入は学生・生徒の在籍者数が減少により前年度比174百万円の減少となりました。

手数料収入は入学志願者数の減少により前年度比6百万円の減少となりました。

補助金収入は地方公共団体補助金収入の増加により前年度比23百万円の増加となりました。

資産運用収入は受取利息収入の減少により前年度比16百万円の減少となりました。

資産売却収入は前年度比84百万円の減少となりましたが、前年度はヨットハウスの土地売却があったための差にあります。

事業収入は学生寮収入の減少に伴い前年度比12百万円の減少となりました。

雑収入は前年度比73百万円の減少となりましたが、前年度はヨットハウス移転に伴う補償金収入があったための差にあります。

前受金収入は293百万円の減少となり、大学・短大の入学者数減と大学・短大の学費納入が2期制から4期制に変更になったことが要因です。

一方、支出の部を勘定科目別に見ていくと、人件費支出は教職員人件費等の減少により前年度比173百万円の減少となりました。

教育研究経費支出は学生数減に伴う経費の減少並びに経費節減により前年度比12百万円の減少となりました。

管理経費支出は経費節減により前年度比18百万円の減少となりました。

施設関係支出はテニスコートの土地購入と大学除マンガン施設整備で大きな支出となりましたが、昨年度も805百万円の土地購入があり前年度比448百万円の減少となりました。

設備関係支出は教育研究用機器備品支出並びにソフトウェア支出の増加により前年度比72百万円の増加となりました。

資産運用支出は減価償却引当特定資産への繰入支出増加により前年度比715百万円の増加となりました。

③消費収支の概要

平成22年度決算と平成21年度決算を比較すると、消費収入の部で帰属収入は5,910百万円となり、前年度比349百万円の減少となりました。学生・生徒の在籍者数が減少し、学生納付金が前年度比174百万円減少したことが主な要因です。ほかに資産運用収入が16百万円、資産売却差額が90百万円、前年度より減少となりましたが、補助金は前年度比23百万円の増加となりました。

また、基本金組入額合計は513百万円となり、前年度比487百万円の減少となりました。主なものは、土地購入366百万円、大学除マンガン施設整備36百万円、リース機器備品・ソフトウェア組入れ額24百万円です。

消費収入の部合計は5,397百万円となり、基本金組入額の減少により前年度比138百万円の増加となりました。

一方、消費支出の部合計は、6,201百万円で前年度比195百万円の減少となりました。人件費が191百万円の減少したことが主な要因です。

消費収支差額は、帰属収入の減少と土地購入代の影響により、804百万円の支出超過となり、次年度繰越消費支出超過額は3,274百万円となりました。

④貸借対照表の概要

平成22年度末、総資産合計23,566百万円となり、平成21年度比721百万円の減少となりました。

①資産の内訳は

イ. 固定資産は19,773百万円で前年度比143百万円の増加

内訳、有形固定資産が17,220百万円で前年度比206百万円の増加となりました。

主因は土地購入に伴い土地が366百万円の増加です。

なお、減価償却額の累計額は6,449百万円で前年度比350百万円増加となりました。

その他の固定資産は2,553百万円で退職給与引当特定資産の減少により前年度比63百万円の減少となりました。

ロ. 流動資産は3,793百万円で前年比863百万円の減少となりました。

②負債の内訳は

イ. 固定負債は1,580百万円で前年度比71百万円の減少

内訳、長期借入金他が475百万円で前年度比51百万円の減少、退職給与引当金は1,104百万円で前年度比121百万円の減少となりました。

ロ. 流動負債は1,400百万円で前年度比359百万円の減少

内訳、未払金および前受金等が1,352百万円で前年度比359百万円の減少となりました。

③基本金の内訳は

イ. 第1号基本金が、23,308百万円で前年度比513百万円の増加

④消費収支差額は、

イ. 翌年度繰越消費支出超過額が、3,274百万円となり前年度比804百万円の増加